

職域における肝炎対策研修会の実施について

令和 4 年 3 月 14 日
広島県健康福祉局業務課

1 概要

自覚症状に乏しいウイルス性肝炎は、放置すると慢性肝炎から肝硬変、肝がんへと病態が進行する恐れがあるため、早期発見・早期治療が必要である。

一方、患者が働きながら必要な検査や治療を受けるためには、職場の理解と協力が不可欠であるが、本県において平成 28 年度に行った職域における肝炎対策実施状況調査において、「相談窓口の設置」、「治療に必要な就業上の配慮」等について、支援体制が十分とは言えない結果であった。

このため、事業主等職域関係者に対し、肝炎対策について啓発を行うとともに、治療と仕事の両立支援に関する取組を推進するための研修会を行った。

2 実施方法

産業医等職域向け研修会を実施している広島産業保健総合支援センターと連携し、肝炎治療の現状と両立支援に関する啓発を実施する。(案内チラシは別紙参考資料 5 のとおり。)

(1) 主催・共催

主催：広島産業保健総合支援センター

共催：広島県医師会、広島県、広島大学病院、広島労働局

(2) 日時・会場

日時：令和 3 年 7 月 31 日（土）14：00-16：30

場所：(公財) 広島市文化財団 JMS アステールプラザ（広島市中区加古町 4-17）

(3) 研修内容

第一部：肝炎と肝がんの最新治療

講師 広島大学病院 消化器・代謝内科 河岡 友和氏

第二部：仕事と治療の両立支援

講師 広島産業保健総合支援センター 産業保健専門職 寺村 清美氏

(4) 周知方法

広島産業保健総合支援センター及び広島県ホームページにより周知を行うとともに、県健康福祉局、商工労働局、総務局の各関係課（関係課からの関係機関への周知を含む）、保健所、市町、専門医療機関等へ研修案内を通知し、参加募集を行った。

また、県医師会速報へ掲載し、産業医への周知を行った。

3 実施結果

参加者数：120 名（産業医、企業の人事労務担当者、専門医療機関、肝疾患コーディネーター等）

参加職種：医師、看護師、保健師、衛生管理者、社会保険労務士等

参加者アンケート結果：

・研修内容が参考になった…97.3%（110/113）

・ 〃 有益であった…95.8%（91/95）

その他、研修内容として「仕事と治療の両立支援」を希望すると回答した者が 15 名あった。

4 今後の取組

今後も職域関係団体と連携した取組を実施することで、職域における肝炎対策をより充実させていく。